

令和6年度 事業報告

事業名	実施状況の概要																											
公益目的事業 国際交流・多文化共生の推進 (1) 地域の国際化に向けた情報の収集・提供・発信	ア 多言語情報の提供と発信 ア) ホームページの運営（県補助事業 1/2） (決算額 330 千円/予算額 483 千円) 財団の情報を迅速に提供するとともに、地域における国際交流の情報交換や、在住の外国出身者が生活していく上で必要な生活情報の提供等を行うホームページ（日本語・英語・中国語・ベトナム語版）を運営し、随時情報の更新に努めた。 R6.9 ごみの出し方（中部版）掲載 R6.9 指差し避難カード（英語・中国語・ベトナム語）掲載 訪問数 32,427（月平均 2,702） 前年度比 11%増 財団ホームページアドレス https://www.torisakyu.or.jp/ (事業報告附属明細書P19参照) イ) SNS による情報発信（県補助事業 1/2） (決算額 5 千円/予算額 57 千円) 在住外国人にダイレクトに有益な情報を伝える手段として公式 SNS（Facebook とっとりニコニコ 英語/やさしい日本語版、中国語簡体字版、中国語繁体字版、ベトナム語版の 4 言語）を運営。特に、大雨や台風時等の防災情報をきめ細やかに配信することに留意した。 <table><tr><th rowspan="2">Facebook Tottori ニコニコ</th><th colspan="3">登録者（フォロワー）数</th></tr><tr><th>R6</th><th>R5</th><th>前年度比</th></tr><tr><td>やさしい日本語/英語</td><td>320</td><td>289</td><td>10.7%増</td></tr><tr><td>中国語簡体字</td><td>61</td><td>53</td><td>15.0%増</td></tr><tr><td>中国語繁体字</td><td>185</td><td>182</td><td>1.6%増</td></tr><tr><td>ベトナム語</td><td>1,470</td><td>1,414</td><td>3.9%増</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,036</td><td>1,938</td><td>5.1%増</td></tr></table> (事業報告附属明細書P19参照) ウ) 機関紙の発行（県補助事業 1/2） (決算額 996 千円/予算額 1,220 千円) 財団の活動状況や、地域の国際交流事業等の情報を提供する機関紙「とっとり国際通信」第 146 号～148 号を 7 月、11 月、3 月にそれぞれ発行（A4 カラー刷り 10 ページ 各 1,800 部 一部記事については英語・中国語・ベトナム語表記） イ 交流拠点の運営と関係機関との連携 ア) 本所・倉吉事務所・米子事務所の運営（県補助事業 10/10） (決算額 12,014 千円/予算額 13,045 千円) 全県的な国際交流の推進のため、各地域の拠点となる施設として財団本所、倉吉事務所（鳥取県中部総合事務所別館内）、米子事務所（米子コンベンションセンター4 階）を設置・運営。令和元年度より、県から外国人相談窓口業務の委託を受けるほか、各拠点では一般図書、日本語教材、視聴覚資料及び雑誌を購入し、来館者の閲覧や貸し出しに供する。 また、毎月第 2 日曜日（14:00～16:00）に本所において、在留資格の変更等の手続きについて申請取次行政書士がボランティアで相談に応じる窓口を運営（ただし、6 月以降休止）。	Facebook Tottori ニコニコ	登録者（フォロワー）数			R6	R5	前年度比	やさしい日本語/英語	320	289	10.7%増	中国語簡体字	61	53	15.0%増	中国語繁体字	185	182	1.6%増	ベトナム語	1,470	1,414	3.9%増	合 計	2,036	1,938	5.1%増
Facebook Tottori ニコニコ	登録者（フォロワー）数																											
	R6	R5	前年度比																									
やさしい日本語/英語	320	289	10.7%増																									
中国語簡体字	61	53	15.0%増																									
中国語繁体字	185	182	1.6%増																									
ベトナム語	1,470	1,414	3.9%増																									
合 計	2,036	1,938	5.1%増																									

イ) 関係機関との連携 (自主事業)

(決算額 273 千円/予算額 700 千円)

i) 連絡調整

県内の高等教育機関における外国人留学生の円滑な受入れと地域社会と連携した国際交流活動を図ることを目的とする鳥取県留学生交流推進会議に参画し、県内に拠点を置く民間国際交流・協力関係者や県・市町村担当者ほか関係機関と情報を交換する。その他、中国 5 県の地域国際化協会連携会議、中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会のブロック会議及び研修会に参加する。

○鳥取県留学生交流推進会議

日時：令和 6 年 11 月 21 日(木) 14:30～16:00

場所：鳥取大学 広報センター2 階 スペース C

内容：県内外国人留学生の受入状況報告、各機関・団体からの活動報告等

○中国 5 県地域国際化協会情報連携会議 (2 か月に 1 回程度、主にオンライン会議)

日 時	内 容
令和 6 年 4 月 30 日(火)	新メンバー加入、自己紹介等
令和 6 年 7 月 2 日(火)	地域日本語教育の国の交付金カットへの対応等
令和 6 年 9 月 27 日(金)	災害時多言語支援センター設置訓練等
令和 6 年 11 月 5 日(火)	中国四国地区地域国際化協会連絡協議会の議題
令和 7 年 3 月 28 日(金)	会議の今後の運営等

○中国・四国地区地域国際化協会連絡協議会

日時：令和 6 年 12 月 5 日(木)～6 日(金)

場所：愛媛県国際交流センター第 1 研修室

幹事：(公財) 愛媛県国際交流協会

内容：各協会概況報告・提出議題協議、災害時外国人支援従事担当者研修会

ii) 地域連携等

市町教育委員会事務局及び小中学校等と連携し、外国にルーツを持つ児童生徒の日本語支援を実施。(要請のあった小・中・高等学校に日本語支援員や教材などをコーディネート)

東部：対象 12 校 21 名に対し、支援員 9 名を紹介 (掛け持ちあり)

中部：対象 1 校 1 名に対し、支援員 1 名を紹介

西部：対象 5 校 5 名に対し、支援員 4 名を紹介 (掛け持ちあり)

○外国にルーツを持つ児童・生徒の日本語支援関係者連絡協議会

日時：令和 7 年 2 月 25 日 (火) 14:00～16:00

場所：鳥取市立湖山西小学校

主催：鳥取市教育委員会

議題：日本語支援が必要な外国人児童生徒の現状、今後の取り組みと課題、
情報交換

(2) 地域の国際化につながる活動の推進と在住外国人トータルサポート

ア あんしん生活・コミュニケーション支援

ア) 多文化共生コーディネーターの配置 (県委託事業 4/10、県補助事業 6/10)
(決算額 3,946 千円/予算額 4,013 千円)

事業	外国人住民の増加及び多国国籍化・多言語化に伴い、単に言葉の問題にとどまらず解決しなければならない問題がますます多様化・複雑化してきている現状において、県内在住外国人ならではの目線・視点をもって、日本人では気づきにくい日本人と外国人との文化的な背景や慣習・制度の違いによるギャップを把握し、寄り添いながら課題解決に取り組む「多文化共生コーディネーター」を令和4年度から配置。（ベトナム出身1名） 日本人も外国人も共に暮らしやすいまちづくりを目指し、在住外国人の視点でWeb版「外国人のための鳥取県生活ガイドブック」の拡充、Facebookによる様々な情報提供や相談対応、市町村や教育機関等と連携した防災勉強会等の企画運営への参画、防災啓発資料の企画・作成などに従事した。 <配置状況> ○本所 月・火・水・金曜日 8:45～17:15（週30時間）（1月以降9:00～17:15） イ）国際交流コーディネーターの配置（県委託事業） （決算額3,825千円/予算額4,186千円） 外国出身者の日常生活における言語及び文化の違いによる障壁をできるだけ低くするべく、英語圏、中国語圏、ベトナム出身の国際交流コーディネーターを配置し、面談や電話、トリオフォン（三者通話機能）、TV会議システム、メール等も活用して母国語で困りごと等の相談に応じるとともに、必要に応じて専門機関等への橋渡しを行う。（他の言語については多言語対応アプリを搭載したタブレットにより対応） また、ホームページやSNS、機関紙といった情報ツールによる発信情報等の翻訳、国際理解を促す財団事業の企画、運営のほか学校や地域の要請に応じた国際理解講座の講師を務めるなど地域交流事業にも参画した。（英語圏出身1名、中国語圏出身2名、ベトナム出身1名） <配置状況> ○本所 英語対応 月曜日 13:30～17:30、金曜日 14:30～17:30（～7月） 月・水曜日 13:30～17:30、金曜日 14:30～17:30（8月～） 中国語対応 月・火曜日 9:00～17:00 ベトナム語対応 （多文化共生コーディネーター配置） ○倉吉事務所 中国語対応 水曜日 9:00～17:00（9月～ 水・木曜日） ベトナム語対応 金曜日 9:00～17:00（7月～ 月・金曜日） ○米子事務所 中国語対応 木曜日 9:00～17:00（9月～ 水・木曜日 予約制） ベトナム語対応 月曜日 9:00～17:00（7月～ 月・金曜日 予約制） ウ）鳥取県における地域日本語教育推進体制整備事業（県委託事業） （決算額7,275千円/予算額8,006千円） 令和元年6月に「日本語教育の推進に関する法律」が施行され、地域の状況に応じた施策を策定・実施することが地方公共団体の責務とされた。財団では令和3年度に「日本語クラスのあり方検討会」を設置し、コロナ禍にあっても地域に在住する外国人が自立した言語使用者として生活していく上で必要となる日本語能力を身に付け、日本語で意思疎通を図り生活できるよう支援していくための持続可能な運営方法について検討し、地域の日本語教育推進体制の整備、学習機会の確保・充実、日本語教育に携わる人材の育成、企業等関係機関との連携について提言を取りまとめた。これを機にこれまでの事業成果を活かしつつ、推進体制の構築と持続を目標に、令和5年度より文化庁（令和6年度より文部科学省に移管）地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の採択を受けた鳥取県から受託し、事業着手し
----	--

ている。年次計画（2年目）に沿って、県、市町村、地域、財団、教育人材それぞれの役割を明確にしながら、連携・協働を進めた。

(1) 総合調整会議の設置

有識者、日本語教育関係者等からなる総合調整会議を設置し、県内における地域日本語教育の現状把握と課題を整理するとともに、県の基本方針に基づいて、さらに日本語教育に特化した総合的な推進計画（方向性と取り組み）を策定することで関係機関の役割を明確にし、連携体制を構築する。

○令和6年度総合調整会議委員（10名）

分野	所属・職名	氏名
学識経験者	財団理事・鳥取大学教育支援・国際交流機構 国際交流センター留学生教育指導部門 教授	御館 久里恵
	岡山大学学術研究院社会文化科学学域 准教授	中東 靖恵
多文化共生・日本語学習支援団体	Toriフレンドネットワーク 事務局長	田村 昭夫
行政機関	鳥取市中央人権福祉センター 所長	川口 寿弘
	鳥取市教育委員会事務局 次長兼学校教育課長	浅見 康陽
	境港市産業部水産商工課 課長補佐兼経済交流係長	本角 有希子
	鳥取県商工労働部雇用人材局雇用・働き方政策課 障がい者・外国人就労支援室長	溝内 博
事業実施主体	鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局交流推進課長	瀬良 知紀
受託事業者	財団・常務理事	佐々木 満也
外国人住民	財団・多文化共生コーディネーター	グエン ギ

○第1回総合調整会議

日時：令和6年7月31日（水） 13:30～16:00

場所：鳥取県庁第2庁舎第21会議室

内容：令和5年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業（実績報告）について
令和6年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業（事業計画）について

○第2回総合調整会議

日時：令和7年2月3日（月） 13:25～16:10

場所：鳥取県庁第2庁舎第21会議室

内容：令和6年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業の進捗状況について
令和7年度鳥取県における地域日本語教育体制整備事業（事業計画）について
その他（オブザーバーとの意見交換）

(2) 地域日本語教育総括コーディネーターの配置

事業の中核的存在（調整・推進役）として各主体との連携体制の構築を行う地域日本語教育総括コーディネーターを1名配置し、地域日本語教育コーディネーターの協力のもと「日本語教育の参照枠」に基づく「生活 Can do」を活用した適切な日本語教育プログラムをデザインし実践するとともに、他地域における実践や研修等の成果を事業に活用した。

<配置状況>

○本所 月・金曜日、倉吉 火・木曜日 8:45～17:15（週30時間）（～8月）

○本所 月・木・金曜日、倉吉 火曜日 8:45～17:15（週30時間）（9月～）

(3) 地域日本語教育コーディネーターの配置

県内を東・中・西部の3地域に分け、地域日本語教育コーディネーターを1名ずつ委嘱・

配置し、それぞれの地域において専門的な知見をもとに県内のどの地域でも同一水準の日本語能力習得を可能とする日本語教育プログラム（カリキュラム）及び日本語教育人材育成研修の企画を総括コーディネーターとともにデザインし実践するとともに、地域の日本語教師及び日本語学習支援者への指導・助言を行った。

- 東部担当：伊藤 邦子氏（財団日本語クラス講師）
- 中部担当：福本 聡氏（財団日本語クラス講師）
- 西部担当：井岸 昌世氏（財団日本語クラス講師）

(4) 「生活者としての外国人」に対する日本語教育人材（日本語教師（初任）Ⅱ）研修の実施

日本語を母語としない生活者としての外国人が言語・文化の相互尊重を前提に日本語で意思疎通を図り自立した社会の一員となることを目指す地域日本語教育の基盤を担う、専門性を有した日本語教師（初任レベル）のスキルアップを図ることを目的に実施した。（令和5年度研修受講者等を対象にしたステップアップ研修）

形式：第1クール（研修①～④）は対面にて実施、第2クール（研修⑤～⑯）はオンラインと対面のハイブリッド方式で実施

会場：伯耆しあわせの郷（倉吉市小田 458）

講師：研修①～⑫ 国立大学法人島根大学学術研究院教育研究推進学系 グローバル化推進本部外国語教育センター准教授 佐藤 智照 氏
研修⑬・⑭ 国立大学法人鳥取大学教育支援・国際交流推進機構 国際交流センター教授 御館 久里恵 氏（財団理事）
研修⑮・⑯ 東京にはんごネット代表 有田玲子 氏

内容：

日 時	内 容
令和6年8月24日(土) 研修① 11:00～12:30 研修② 13:30～15:00	JF 日本語教育スタンダードに準拠したロールプレイテストを使用し、日本語学習者の口頭での課題遂行能力を評価する方法を、理論と演習で学ぶ
令和6年9月14日(土) 研修③ 11:00～12:30 研修④ 13:30～15:00	
令和7年1月25日(土) 研修⑤ 10:00～12:00 研修⑥ 13:00～15:00	「学習を評価する」-理論・事例紹介・活用-
令和7年1月26日(日) 研修⑦ 10:00～12:00 研修⑧ 13:00～15:00	「話すこと」を評価する～タスクとルーブリックの作成
令和7年2月1日(土) 研修⑨ 10:00～12:00 研修⑩ 13:00～15:00	「書くこと」を評価する～タスクとルーブリックの作成
令和7年2月8日(土) 研修⑪ 10:00～12:00 研修⑫ 13:00～15:00	「いろいろ 生活の日本語」を使って教える～意見交換・ワーク
令和7年2月9日(日) 研修⑬ 10:00～12:00 研修⑭ 13:00～15:00	「日本語教育の参照枠」に基づく行動中心アプローチのテキストで授業を組み立てる～「まるごと」を例に
令和7年2月22日(土) 研修⑮公開 10:00～12:00 研修⑯公開 13:00～15:00	オンライン活用講座～ZOOMを使用した日本語学習の支援方法とテキスト+αの実践

受講者数：26名

※研修⑮・⑯：学習支援希望者も対象とした公開講座

(5) やさしい日本語の普及・活用

○「やさしい日本語研修」出前講座

地域日本語教育への理解と、コミュニケーションの促進を図るため、地域住民を対象に実施。

日 時	対象 (受講者数)	講 師
令和6年6月19日(水) 13:00～14:30	県立倉吉総合看護専門学校 (27名)	国立大学法人鳥取大学教育支援・国際交流推進機構国際交流センター 教授 御館 久里恵氏 地域日本語教育総括コーディネーター 岩本 由美子
令和6年7月13日(土) 19:00～20:00	倉吉市穴窪自治公民館 (22名)	地域日本語教育総括コーディネーター 岩本 由美子
令和6年9月19日(木) 10:30～12:00	全国健康保険協会(協会けんぽ) 鳥取支部 (8名)	国立大学法人鳥取大学教育支援・国際交流推進機構国際交流センター 教授 御館 久里恵氏 地域日本語教育総括コーディネーター 岩本 由美子
令和6年9月26日(木) 10:30～12:00	(公財) 境港うなばら水産奨学会 (23名)	同上
令和6年10月11日(金) 10:00～11:30	鳥取地方気象台 (20名)	同上
令和7年2月19日(水) 14:00～15:30	米子市役所 (18名)	同上

○【新規】「やさしい日本語プラットフォーム」の構築

やさしい日本語で表記した日本語学習や生活情報など、さまざまな情報を共有するためのサイトを構築し、やさしい日本語の認知・普及と、地域で共に生活する外国人を共に暮らしていく人々として受け入れるきっかけづくりに役立てる。

「鳥取県やさしいにほんごプラットフォーム」

<https://plain-japanese.com/>

エ) 日本語クラスの運営 (県補助事業 3/4)

(決算額 1,583 千円/予算額 2,488 千円)

県内に在住するいろいろな立場・国籍の外国出身者が、日常生活に役立つ日本語を共に楽しく学べる場として、日曜日に専任講師とボランティアパートナーによるクラス形式の日本語教室を運営。クラスに参加しにくい方については、希望の日程でボランティアがマンツーマン対応する個別学習を組み合わせ、実施した。

また、運営に関わる講師及びボランティアの研修や意見交換の場を組み入れ、クラス運営の一体的な充実を図った。

<東部>

クラス運営

形式：基礎・初級・中級・漢字・子どもにほんごクラス の5クラス

期間：第1期 令和6年4月14日～8月11日の日曜日 全18回

(子どもにほんごクラスのみ14回)

第2期 令和6年9月1日～12月15日の日曜日 全14回

場所：財団本所 (子どもにほんごクラス)

鳥取市高齢者福祉センター (基礎・初級・中級・漢字)

受講者数：第1期 97名、第2期 67名 (延べ人数)

研修会

日時：令和6年4月7日(日) 10:00～11:20

場所：鳥取市高齢者福祉センター会議室

内容：①県内在住外国人の現状と日本語クラスの進め方

②地域における日本語学習支援の歩みと支援人材に求められること

講師 国立大学法人鳥取大学教育支援・国際交流推進機構 国際交流センター教授（財団理事・日本語クラス講師） 御館 久里恵 氏

参加者数：17名

<中部>

クラス運営

形式：日曜日 基礎、初級 の2クラス

期間：第1期 令和6年4月14日～8月4日の日曜日 全16回

第2期 令和6年9月1日～11月24日の日曜日 全10回

場所：県立倉吉体育文化会館会議室

受講者数：第1期 53名、第2期 53名（延べ人数）

研修会

日時：令和6年4月7日（日）15:00～16:30

場所：県立倉吉体育文化会館「小研修室1」

内容：①クラスの方針、学習の進め方について

②外国人が学ぶ日本語について

講師 地域日本語教育コーディネーター・日本語クラス講師 福本 聡 氏

参加者数：5名

<西部>

クラス運営

形式：基礎・初級の2クラス

期間：第1期 令和6年4月21日～7月21日の日曜日 全11回

第2期 令和6年9月1日～令和7年1月19日の日曜日 全12回

場所：米子コンベンションセンター会議室

米子市文化ホール（第2期の一部）

受講者数：第1期 34名、第2期 38名（延べ人数）

研修会

	第1期	第2期
日 時	令和6年4月14日（日） 13:30～15:00	令和6年8月25日（日） 13:30～14:45
場 所	米子コンベンションセンター会議室	
内 容	クラスの方針、学習の進め方について 日本語ボランティアパートナー同士での意見交換	「いそどり生活の日本語」教材について 講師 地域日本語教育コーディネーター・日本語クラス講師 井岸 昌世 氏
参加者数	18名	12名

<個別学習>

東部2組、中部5組、西部4組

（事業報告附属明細書P21参照）

オ）医療・コミュニティ通訳ボランティアの派遣（県補助事業3/4）

(決算額 803 千円/予算額 1,258 千円)

関係機関または外国出身者からの要請に応じて、医療通訳ボランティア（医療・保健機関等に派遣）及びコミュニティ通訳ボランティア（保育園や学校、福祉分野、在留資格相談など公的機関等での言語支援の要請が多様化する現場において、適切な制度説明や手続きを促すために派遣）を一体的に運営し、ワンストップサービスとして利用者目線で利便性が高まる工夫を行った。

・医療通訳ボランティア登録者

R7.3月現在 英語 50 名、中国語 16 名、タガログ語 3 名、韓国語 1 名、モンゴル語 1 名、タイ語 3 名、スペイン語 1 名 延べ 75 名（複数言語登録有）

・コミュニティ通訳ボランティア登録者

R7.3月現在 英語 56 名、中国語 17 名、タガログ語 6 名、韓国語 1 名、ポルトガル語 1 名、モンゴル語 1 名、タイ語 3 名、スペイン語 1 名 延べ 86 名（複数言語登録有）

＊令和 6 年度派遣実績（R7.3 月末時点）（ ）は前年度派遣実績（年間）の数字

	種別	東 部	中 部	西 部	計
英 語	医療	(94) 88 件	(10) 44 件	(22) 5 件	(126) 137 件
	コミュニティ	(40) 26 件	(8) 5 件	(2) 5 件	(50) 36 件
中 国 語	医療	(19) 25 件	(4) 4 件	(4) 0 件	(27) 29 件
	コミュニティ	(9) 23 件	(7) 12 件	(2) 2 件	(18) 37 件
ベトナム語	医療	(4) 6 件	(29) 21 件	(1) 1 件	(34) 28 件
	コミュニティ	(1) 2 件	(5) 16 件	(0) 3 件	(6) 21 件
そ の 他	医療	(1) 1 件	(3) 3 件	(2) 0 件	(6) 4 件
	コミュニティ	(0) 4 件	(0) 3 件	(2) 0 件	(2) 7 件
計	医療	(118) 120 件	(46) 72 件	(29) 6 件	(193) 198 件
	コミュニティ	(50) 55 件	(20) 36 件	(6) 10 件	(76) 101 件

「その他」はタガログ語、モンゴル語
(事業報告附属明細書P22参照)

カ) 防災・災害時支援事業の実施（県補助事業 3/4）

(決算額 37 千円/予算額 46 千円)

大規模災害時に災害弱者となりやすい外国出身者の不安を取り除くため、外国人住民が防災についての知識を学び体験する防災勉強会を市町村や教育機関等と連携して実施した他、当財団オリジナルの「防災かるた」、「指差し避難カード」を活用し出前講座等を開催した。

＜市町村や教育機関等と連携した研修＞

○外国人防災勉強会 in 公立鳥取環境大学

日時：令和 6 年 6 月 26 日(水)、場所：公立鳥取環境大学

内容：消火器訓練(鳥取消防署)、防災アプリの説明(鳥取市)、防災かるた(当財団)

参加者：31 名(同大学の留学生 22 名、留学生サポーター 5 名、防災同好会 4 名)

	協力：公立鳥取環境大学、鳥取市、鳥取消防署、鳥取県 ○外国人防災勉強会 in 三朝町 日時：令和6年10月27日（日）、場所：三朝町総合文化センター 内容：防災かるた(当財団)、防災ワークショップ(鳥取地方気象台)、降雨体験機の体験(倉吉河川国道事務所)、防災ボトルづくり(鳥大防災Lab.) 参加者：24名(岡山大学惑星物質研究所の研究生、財団日本語クラスの生徒等) 協力：三朝町、鳥取地方気象台、鳥取県、岡山大学、倉吉河川国道事務所、鳥大防災Lab. ○外国人防災勉強会 in 米子 日時：令和6年12月9日（日）、場所：鳥取県西部総合事務所 内容：防災かるた(当財団)、防災おりがみ・防災勉強会(鳥取地方気象台)、消火器訓練(米子消防署)、お楽しみ写真撮影会(米子国際ビジネスカレッジ) 参加者：100名程度(米子国際ビジネスカレッジの留学生) 協力：米子市、米子消防署、鳥取地方気象台、米子国際ビジネスカレッジ、鳥取県 <日本語クラスでの防災学習> ○東部クラス 日時：令和6年6月30日（日） 内容：防災かるた等を活用した学習 参加人数：15人 ○西部クラス 日時：令和6年11月17日（月） 内容：自転車シミュレーターを使った交通安全 参加人数：18人 ※中部クラスは、上記「外国人防災勉強会 in 三朝町」として実施 <防災出前講座> ○派遣先：鳥取フードネットワーク協同組合（入国後講習として実施） 日時：令和6年9月24日（火）、場所：サンマート湖山店2階 内容：多文化共生コーディネーターの話・防災かるた(当財団)、資機材展示(鳥取市) 参加者：17名(9月にミャンマーから入国した技能実習生) 協力：鳥取フードネットワーク協同組合、鳥取市、鳥取県 <防災ブース出展> ○タイムフェスティバル 日時：令和6年11月24日（日）、場所：とりぎん文化会館 キ) 外国人相談窓口運営事業（県委託事業） （決算額 1,186 千円/予算額 1,088 千円） 平成31年4月の改正入管法施行に伴い、鳥取県より外国人受入環境整備交付金を財源とする「鳥取県国際交流財団外国人相談窓口業務」を受託。これまで行ってきた外国人相談を拡充して各事務所に相談窓口を設け、市町村や専門機関等と連携し相談に応じた。 ※職員で対応できない言語については、多言語対応アプリを搭載したタブレット等翻訳機器、出入国在留管理庁通訳支援事業の通訳サービスの活用により対応 ※外国人相談関係機関連絡会議については、毎年、県が主催する「多文化共生支援ネットワーク会議地域部会及び全体会」と開催趣旨や参集者等が重なるため、令和6年度に廃止。
--	---

＜相談員向け研修会＞

- ・回数：本所2回、倉吉事務所2回、米子事務所3回
- ・内容：国制度の情報共有や国等の研修会の伝達、相談業務に係るワークショップ等
(事業報告附属明細書P23参照)

ク) 多文化共生サポート事業 (県補助事業 3/4)

(決算額 53 千円/予算額 460 千円)

平成30年度に財団ホームページに構築した多文化共生ポータルサイト (災害情報などの「重要なお知らせ」、「せいかつ安心情報」、「多言語相談フォーム」) の運用による相談内容の翻訳・回答や情報提供のほか、広報及び専門機関等へのアウトリーチの強化によりサポート体制の充実を図った。

＜制作した普及啓発ツール＞

- 指差し避難カード (英語・ベトナム語・中国語)
- ごみ分別のルール (やさしい日本語 中部版)
- ※財団ホームページからダウンロード可能

＜鳥取県多文化共生支援ネットワーク関係機関との連携＞

- 地域部会 (鳥取県交流推進課主催)
日時：令和6年8月8日 (木)、内容：多文化共生の各種取組を説明
- 全体会議 (鳥取県雇用・働き方政策課主催)
日時：令和6年8月21日 (水)、内容：相談窓口運営状況や多文化共生の取組を説明

＜関係機関訪問＞

- 鳥取労働局や法テラス、日本年金機構等の専門機関を訪問し、協力体制を確認
- 市町村を訪問し、外国人相談窓口の開設や多文化共生の取組を呼びかけ
- 市町村の住民登録窓口にて財団の在住外国人向けのサービスを集約したファイルブックを提供し、転入した外国出身者へ配布

ケ) 私費留学生奨学金の支給 (県補助事業 10/10)

(決算額 3, 120 千円/予算額 3, 632 千円)

(1) 私費外国人留学生奨学金制度

県内の大学・大学院・短期大学等に通学する私費留学生 11 名に月額 2 万円の奨学援助を行い、奨学生には「国際交流活動ボランティア」として、当財団や地域の国際交流活動への貢献を促した。

- ・鳥取大学 5 名 (中国 3、バングラデシュ 2)
- ・公立鳥取環境大学 6 名 (中国 4、台湾 1、ベトナム 1)

(2) 鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金制度

鳥取県の交流地域である韓国江原特別自治道、中国吉林省・河北省、ロシア沿海地方、モンゴル中央県、ロシア ハバロフスク地方、台湾台中市、米国バーモント州、ジャマイカ ウェストモアランド県出身者を対象に前・後期各 4 名に月額 2 万円の奨学援助を行い、在県中の地域における国際交流活動への協力を促した。これにより県民の国際理解促進に貢献するとともに、将来、鳥取県と友好交流地域との架け橋となり得る人材の育成を図る。

- ・前期 鳥取大学 4 名 (韓国江原特別自治道 3、台湾台中市 1)
うち、早期帰国者 2 月分×3 名不執行
- ・後期 鳥取大学 1 名 (韓国江原特別自治道 1)

早期帰国により 2 月分不執行

コ) 地域の多文化共生推進交流会の実施 (県補助事業 3/4)

(決算額 63 千円/予算額 187 千円)

生活者としての外国人住民の文化を尊重しながら日本文化への理解も促し、自然な形で相互に交流できる機会を創出することで、多文化共生の実践と浸透を図った。

○しゃんしゃん傘踊り体験会 (タイムフェスティバルとタイアップ)

日時: 令和 6 年 11 月 24 日 (日)、場所: とりぎん文化会館

内容: しゃんしゃん傘踊りを練習した後、フェスティバルのステージで踊りを披露

参加者: 12 名 (タイムフェスティバル来場者)

協力: 鳥取市、鳥取市役所郷土芸能同好会

サ) 鳥取県多文化共生サポーター制度の運営業務 (県委託事業)

(決算額 481 千円/予算額 650 千円)

外国人住民の抱える問題を早期に発見し迅速かつ的確に対応するため、市町村からの推薦により、令和 2 年度において、鳥取県知事が、外国人住民と行政機関等の橋渡し役となる多文化共生サポーターを委嘱。当財団は、活動のための研修や情報提供を行うとともに、活動報告の共有、活動費の支給、保険加入等の業務を行った。

<現在の被委嘱者 (9 者・団体) >

・鳥取市: 4 団体 (TIME、TIA、にほんごがくしゅうかい、icotto)

・倉吉市: 1 団体 (Tori フレンド Network)

・米子市: 1 団体 (日本中国友好協会米子支部)、3 個人 (伊藤、LEE、松川)

<全体研修会>

日時: 令和 6 年 7 月 25 日 (木)、場所: 県民ふれあい会館 (オンライン参加可能)

内容: 勉強会 (育成就労制度の解説等)、サポーターによる活動報告、外国人住民が抱える課題や問題点を抽出し改善策を検討するワークショップ

参加者: 16 名 (鳥取県多文化共生サポーター、市町村担当者)

協力: 広島出入国在留管理局 (国の行政懇談会として参画)、鳥取県

シ) 国際交流ボランティア登録制度の運営 (自主事業)

(決算額 0 千円/予算額 80 千円)

日本語教育、ホームステイ、ホストファミリーのボランティア登録制度を運営し、公的機関や民間団体等の要請に応じて活動の場を紹介することで、県民のボランティア活動の推進に努める。

○活動実績

日本語教育 60 名、ホームステイ 6 家庭、ホストファミリー 0 家庭

イ 担い手となる人材の育成

ア) 医療・コミュニティ通訳ボランティア確保・育成事業の実施 (県補助事業 3/4)

(決算額 811 千円/予算額 1,278 千円)

今後、多文化共生社会を推進していくためには、通訳ボランティアの果たす役割はますます重要であり、ボランティア人材及び人材の質を確保していくため、人材の確保・育成・派遣の三段階で取り組み、優秀な人材を確保し登録者の拡充を図った。(講座後新規登録者: 8 名 (英語 6、タイ語 1、スペイン語 1))

①確保事業（人材確保のための導入研修）

＜入門編＞資質・適性のある活動候補者（希望者）を対象に、県内在住の外国出身者の現状理解や今後の活動に役立つトレーニング方法等についての座学研修

日時：令和6年10月12日（土）13:00～15:30

場所：ハイブリッド（オンライン＋ふれあいの里、オンデマンド）

内容：(1)制度説明

(2)講義①「鳥取県内の多文化共生の現状 ～皆さんだからできること～」

講師 橋本 真弓 氏

（特定行政書士、医療・コミュニティ通訳ボランティア登録者、財団理事）

(3)講義②「在留資格の基本と実例から見る手続き」

講師 広島出入国在留管理局職員

受講者数：42名（会場18名、オンライン18名、オンデマンド6名）

②育成事業（スキルアップ講座、自発的活動促進支援）

＜応用編＞言語及び医療の専門知識、対人援助能力などの資質向上とモチベーションの維持を目的とするスキルアップ研修

日時：令和7年2月1日（土）10:00～15:30

場所：ハイブリッド（オンライン＋米子コンベンションセンター、オンデマンド）

内容：(1)言語別ロールプレイ①（英語、中国語）

講師 多言語センターFACIL 通訳者

(2)講義「コミュニティ通訳の心構えと技術トレーニング法」

講師 澤田 晶子 氏（フリーランス翻訳・通訳）

(3)言語別ロールプレイ②（タイ語、スペイン語、インドネシア語）

講師 多言語センターFACIL 通訳者

受講者数：31名（会場15名、オンライン16名）

＜自発的活動促進支援＞自主勉強会の会場確保や講師の派遣など側面的な支援

○東部地区（英語）自主勉強会

場所：県民ふれあい会館研修室（原則毎月1回）

講師：財団理事・マリーナ翻訳サービス代表 シェリー メガリー 氏

鳥取県職員 土井 智子氏

内容：テーマを決めて研修・ロールプレイ

開催数：10回 参加者数：延べ60名

③派遣事業（医療・コミュニティ通訳ボランティア派遣事業（別掲））

イ）「生活者としての外国人」に対する日本語教育人材研修の実施（地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業）（別掲）

ウ）通訳ボランティアスキルアップ講座の実施（県委託事業）

（決算額376千円/予算額434千円）

スポーツの国際大会や海外選手団の受入に対応しうる技量を備えた通訳ボランティア確保を目的に、平成29年度以降、県から受託しているところ、令和7年9月開催の東京2025世界陸上競技選手権大会に出場するジャマイカ陸上選手団事前キャンプを念頭に実施した。

日時：令和7年2月15日（土）13:30～16:30

場所：県民ふれあい会館「大研修室」

	講師：「ジャマイカの紹介」 シヤフナ マッケンジー 氏 「通訳ボランティアスキルアップ講座」 シェリー メガリー 氏（財団理事） 受講者数：60名（会場27名、オンライン33名）																						
(3) 世界につながる県民の 国際理解・国際協力推 進	ア 国際理解推進事業 ア）鳥取県米国バーモント州青少年受入業務（県委託事業） （決算額 514 千円/予算額 1,561 千円） 平成 30 年 7 月に鳥取県とバーモント州政府が姉妹提携協定書に調印したことを機に、当財団は高校生の相互派遣事業「鳥取県・バーモント州青少年交流事業」のカウンターパートである NPO 法人 Green Across the World（略称：GATW）と「環境学習を通じた青少年交流」に関する協定を締結した。従前県補助事業として実施してきた受入・派遣に係る本事業は、令和 6 年度から県直営となるも、同時に受入事業のみ当財団が受託することとなり、同州の高校生を県内に受け入れ、ホームステイの他、県内の高校生と一緒に鳥取県の自然・歴史・文化などの体験、高校の授業参加等のプログラムを行った。また、州・県の両高校同士の直接的な交流を目指し、県内の高校と協働で事業を展開した。 受入期間：令和 6 年 4 月 21 日～4 月 29 日（9 日間） 受入人数：10 名（生徒 8 名、引率 2 名） 県内協力校：県立鳥取西高等学校（バーモント STEM 研修プログラムと同時開催）、県立鳥取商業高等学校（バーモント州エセックス高校とオンライン交流を実施） （事業報告附属明細書P26参照） イ 国際協力推進事業 ア）県費留学生・研修員等の受入（県委託事業） （決算額 11,202 千円/予算額 12,003 千円） 県民との友好親善の担い手となることを目的に、鳥取県と関係の深い国々の将来を担う青年を「県費留学生」「海外技術研修員」または「協力交流研修員」として招へいし、母国の発展に大きく寄与する人材となるよう養成するにあたり、受入にかかる研修機関との連絡調整や生活支援等の業務を行った。 ＜鳥取県江原道職員相互派遣研修員受入事業＞ <table border="1"> <tr><td>氏 名</td><td>金 英恩（キム ヨンウン）</td></tr> <tr><td>国 籍</td><td>韓国（江原道）</td></tr> <tr><td>区 分</td><td>鳥取県・江原道職員相互派遣研修員</td></tr> <tr><td>研修期間</td><td>11 か月（R6.5～R7.3）</td></tr> <tr><td>研修科目</td><td>人口減少対策、観光ほか</td></tr> <tr><td>研修機関</td><td>県輝く鳥取創造本部ほか</td></tr> </table> ＜自治体職員協力交流員受入事業＞ <table border="1"> <tr><td>氏 名</td><td>郝 慶文（ハオ チンウェン）</td></tr> <tr><td>国 籍</td><td>中国（吉林省）</td></tr> <tr><td>区 分</td><td>自治体職員協力交流研修員</td></tr> <tr><td>研修期間</td><td>11 か月（R6.5～R7.3）</td></tr> <tr><td>研修科目</td><td>国際行政、商工行政</td></tr> </table>	氏 名	金 英恩（キム ヨンウン）	国 籍	韓国（江原道）	区 分	鳥取県・江原道職員相互派遣研修員	研修期間	11 か月（R6.5～R7.3）	研修科目	人口減少対策、観光ほか	研修機関	県輝く鳥取創造本部ほか	氏 名	郝 慶文（ハオ チンウェン）	国 籍	中国（吉林省）	区 分	自治体職員協力交流研修員	研修期間	11 か月（R6.5～R7.3）	研修科目	国際行政、商工行政
氏 名	金 英恩（キム ヨンウン）																						
国 籍	韓国（江原道）																						
区 分	鳥取県・江原道職員相互派遣研修員																						
研修期間	11 か月（R6.5～R7.3）																						
研修科目	人口減少対策、観光ほか																						
研修機関	県輝く鳥取創造本部ほか																						
氏 名	郝 慶文（ハオ チンウェン）																						
国 籍	中国（吉林省）																						
区 分	自治体職員協力交流研修員																						
研修期間	11 か月（R6.5～R7.3）																						
研修科目	国際行政、商工行政																						

	<table><tr><td>研修機関</td><td>県輝く鳥取創造本部ほか</td></tr></table> <ブラジル交流推進事業> <table><tr><td>氏 名</td><td>ITO GABRIEL KENJI (イトウ ガブリエル ケンジ)</td><td>Itikawa Fugi Beatriz Emi (イチカワ フジ ベアトリス エミ)</td></tr><tr><td>国 籍</td><td>ブラジル</td><td>ブラジル</td></tr><tr><td>区 分</td><td>県費留学生</td><td>海外技術研修員</td></tr><tr><td>研修期間</td><td>12 か月 (R6. 4～R7. 3)</td><td>7 か月 (R6. 9～R7. 3)</td></tr><tr><td>研修科目</td><td>医学</td><td>栄養士</td></tr><tr><td>研修機関</td><td>鳥取大学 医学部 社会医学講座 健康政策医学分野 (米子市)</td><td>社会福祉法人こうほうえん (米子市)</td></tr></table>	研修機関	県輝く鳥取創造本部ほか	氏 名	ITO GABRIEL KENJI (イトウ ガブリエル ケンジ)	Itikawa Fugi Beatriz Emi (イチカワ フジ ベアトリス エミ)	国 籍	ブラジル	ブラジル	区 分	県費留学生	海外技術研修員	研修期間	12 か月 (R6. 4～R7. 3)	7 か月 (R6. 9～R7. 3)	研修科目	医学	栄養士	研修機関	鳥取大学 医学部 社会医学講座 健康政策医学分野 (米子市)	社会福祉法人こうほうえん (米子市)
研修機関	県輝く鳥取創造本部ほか																				
氏 名	ITO GABRIEL KENJI (イトウ ガブリエル ケンジ)	Itikawa Fugi Beatriz Emi (イチカワ フジ ベアトリス エミ)																			
国 籍	ブラジル	ブラジル																			
区 分	県費留学生	海外技術研修員																			
研修期間	12 か月 (R6. 4～R7. 3)	7 か月 (R6. 9～R7. 3)																			
研修科目	医学	栄養士																			
研修機関	鳥取大学 医学部 社会医学講座 健康政策医学分野 (米子市)	社会福祉法人こうほうえん (米子市)																			
(4) 山陰・夢みなと博覧会 記念基金を活用した県 民主体・参加型国際交 流事業	ア 基金による助成事業 県民参加型の地域の国際化に資する交流事業を支援するための助成制度を運営した。 ア) 民間国際交流・協力事業への助成 (決算額 7,616 千円/予算額 25,100 千円) 県内に拠点を置く民間交流団体等が実施する県民参加型の地域の国際化に資する国際交流・協力事業に対し、事業にかかる直接的な経費を同年度内に一団体あたり合計で 300 万円 (青少年事業を含む場合は 500 万円) を上限に助成する。 交付実績 : 12 事業 (7,486 千円) イ) 海外教育旅行への助成 (決算額 3,710 千円/予算額 5,000 千円) 本県の将来を担う児童・生徒の国際性豊かな資質の醸成と、山陰唯一の国際定期航路・海路の利用促進に資するものとして、県内の小・中学校、高等学校等が実施する海外への教育旅行に対し、経費の一部を助成 (パスポート (5 年) 相当分の半額として 5,500 円を全員に交付。さらに、渡航において県内発着便を利用した場合には、1 万円を上乗せ)。 交付実績 : 11 事業 (3,710 千円) (事業報告附属明細書P26参照) イ 基金による県民参加型交流事業 ア) 子どものための異文化理解体験講座の実施 (決算額 71 千円/予算額 434 千円) 小学生を対象に、多言語による歌やダンス、遊びやゲームの体験などさまざまな国の文化に触れる機会を提供することを目的に、外国人出身講師 (当財団コーディネーター) を派遣し実施する。(9～12 月にかけて順次開催) <東部>郡家西、岩倉、湖山、大正、若桜学園、米里、白兔養護、瑞穂、世紀 計9校 <中部>羽合、明倫、船上、浦安、関金、西郷、大栄、聖郷、赤碕 計9校 <西部>伯仙、崎津、西伯、彦名、淀江 計5校 対象校数 全23校1,237名 (前年度比3校362名増) (事業報告附属明細書P29参照)																				

イ) 国際交流フェスティバルの実施

(決算額 433 千円/予算額 540 千円)

広く県民と在住外国人との協働による異文化理解を促進するため、県内 3 地区で開催されている民間団体（実行委員会）主催の国際交流フェスティバルに共催者として参画。

＜東部＞第 36 回タイムフェスティバル

日時：令和 6 年 11 月 24 日（日）

場所：とりぎん文化会館 来場者数 1,000 名

（パフォーマンス出演 11 団体、展示ブース出展 23 団体（うち物品販売 6 団体）、ボランティア 76 名）

＜中部＞くらし国際交流フェスティバル 2024

日時：令和 6 年 11 月 10 日（日）

場所：伯耆しあわせの郷 来場者数 650 名

（ステージパフォーマンス 3 団体、食べ物ブース 8 団体、活動紹介 7 団体、文化体験 4 団体、その他 4 団体（財団含む））

＜西部＞よなご国際交流フェスティバル 2024

日時：令和 6 年 10 月 6 日（日）

場所：米子市文化ホール 来場者数 1,200 名

（パフォーマンス出演 11 団体、展示・体験ブース出展 12 団体、加工食品販売 11 団体、ボランティア 8 名）

（事業報告附属明細書P29参照）

ウ) 多文化共生ネットワーク連携事業

(決算額 248 千円/予算額 748 千円)

平成 28 年度より、外国人コミュニティや社会活動に積極的に参画している在住外国出身者を主たるメンバーとする「多文化共生ネットワーク会議」を組織し、定期的に意見を交換するとともに、必要な取り組みを協働で企画、実施し、外国人住民目線で「必要なこと」の実現に取り組んできた。令和 6 年度は、過去の多文化共生ネットワーク会議で検討されたパネルディスカッションを具体化し、集大成とした。また、地域における多文化共生推進のための多文化共生出前講座を引き続き実施した。

＜協働事業＞

多様な文化を持つ人々を尊重しながら共生する地域づくりへ向け、多文化共生パネルディスカッション「今、何しにトットリへ？」を開催した。

日時：令和 6 年 12 月 15 日（日）13:30～15:45

場所：米子市文化ホール イベントホール

内容：(1) オープニングパフォーマンス（フィリピンの伝統ダンス）

(2) パネルディスカッション

（トピック：異文化理解、日本語、子育て、鳥取県への思い）

(3) 各国展示ブース紹介

ファシリテーター：川口 斐斐 氏（台湾、財団理事）

パネリスト：クリストファー ハリス 氏（アメリカ）

ラメンスカヤ アナスタシア 氏（ロシア）

姜 美善 氏（韓国）

藤原 スイリナパー 氏（タイ）

協力者：ネットワーク委員 5 名（中国、タイ、南アフリカ、フィリピン）

	来場者数：100 名		
	＜多文化共生出前講座＞		
	主に財団職員（コーディネーター等）を講師とする多文化共生出前講座を、要請に応じて派遣する。		
	日 時	派遣先・対象	内容及び講師名
1	令和6年6月14日 (金) 13:35～14:20	鳥取市立中ノ郷 小学校4年生	「私のこと あなたのこと ～中国と日本で生活して」 党 培(財団・国際交流コーディネーター)
2	令和6年9月18日 (水) 9:40～11:40	北栄町立北条中 学校3年生	違いを認め、ともに生きていくために私たちにできることを学習する。 羅房 健美(財団・国際交流コーディネーター)
3	令和6年10月30日 (水) 10:40～11:25	米子市立箕蚊屋 小学校6年生	外国人の人権問題、取り組み、子どもたちに伝えたい思いについて学習する。 羅房 健美(財団・国際交流コーディネーター)
4	令和6年11月27日 (水) 10:35～12:10	米子市立河崎小 学校6年生	みんなが過ごしやすい社会として、外国人の人権について学習する。 羅房 健美(財団・国際交流コーディネーター)

法人管理 会議等開催状況	評 議 員 会 (1) 第44回評議員会 令和6年5月30日(木) 13:30～14:30 とりぎん文化会館2階「第3会議室」 議決事項 第1号議案 評議員長の選任について 第2号議案 議事録署名人の選出について 第3号議案 令和5年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録の承認について 報告事項(1) 令和5年度事業報告及びその附属明細書について 報告事項(2) 令和6年度収支予算の修正について (2) 第45回評議員会（決議の省略による） 令和7年3月28日(金) 議決事項 第1号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の変更及び常務理事の報酬の額の決定について 報告事項 令和7年度事業計画及び収支予算等について 理 事 会 (1) 第82回理事会（決議の省略による） 令和6年4月1日(月) 議決事項 第1号議案 事務局長の解任及び選任について (2) 第83回理事会 令和6年5月14日(火) 13:05～14:10 県民ふれあい会館4階「大研修室」 議決事項 第1号議案 令和5年度事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表及び正
-------------------------	--

	味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について 第2号議案 令和6年度収支予算の修正について 第3号議案 定時評議員会の招集について (3) 第84回理事会 令和6年11月28日（金）13：30～15：45 県民ふれあい会館4階「大研修室」 議決事項 第1号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団財務規程の変更について 第2号議案 資産運用計画の変更について 報告事項 令和6年度職務執行の状況について 協議事項 山陰・夢みなど博覧会記念基金関連規程の変更方針等について (4) 第85回理事会 令和7年3月18日（火）14：00～16：10 県民ふれあい会館4階「大研修室」 議決事項 第1号議案 令和7年度事業計画及び収支予算等について 第2号議案 公益財団法人鳥取県国際交流財団役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程の変更について 第3号議案 臨時評議員会（決議の省略による）の招集について 第4号議案 令和7年度資産運用計画について 第5号議案 山陰・夢みなど博覧会記念基金助成事業関連規程の変更について 報告事項 令和6年度職務執行の状況について 協議事項 鳥取県多文化共生推進に向けた共通理念について
--	--